



第135号 2017年5月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

萩市ホームページ <http://www.city.hagi.lg.jp/>

## 主な内容

|                       |     |
|-----------------------|-----|
| 藤道健二新市長が誕生            | P3  |
| ズームアップ 田中亮大(東京都)      | P6  |
| シリーズ萩の逸品「岩川旗店」        | P7  |
| 幕末ミュージアム 小川忠文(下関市)    | P8  |
| 萩・明倫学舎「萩暦」店長 河村光昭(萩市) | P9  |
| 映画「八重子のハミング」佐々部清監督    | P12 |

明倫小学校の卒業生はもちろん、卒業生でなくても木造校舎に入るだけでノスタルジックな気分を味わえる。約90mの長い廊下はそのまま、階段や教室の窓枠など利用できる部材は木造校舎の元の素材を利用している。

2棟分の施設を元の教室一つひとつ見るだけで時間がかかり、迷路の中を歩くような楽しさも味わえる。入館料300円(2号館のみ)で、本館・2号館合わせて2時間は楽しめる施設。オープンからわずか1カ月半で、来館者が5万人を突破した。

## 懐かしい木造校舎 萩・明倫学舎

写真/マキタオモリツグ



# 萩・明倫学舎

## 3月4日オープン!

萩市が新たな観光施設として整備した「萩・明倫学舎」が江向の旧明倫小学校校舎を改修し3月4日オープンした。

来館者は開館からわずか45日目の4月17日、5万人を突破した。年間10万人(月間平均8千人)という目標を大幅に上回るペース。本館は無料とはいえ、有料となる2号館にも3割程度の1万5000人超が入館している。

を映像で紹介

- ・「ジオパークビジターセンター」笠山周辺、長門峡、須佐ホルンフェルス、龍が通った道を「プロジェクションマッピング」で立体的な映像で紹介、地元の火山大地の成り立ちなどを学べる
- ・「復元教室」

昭和30年代をイメージし、懐かしい木造校舎の雰囲気を楽しめる

- ・「明倫小学校展示室」

昭和10年に開校した明倫小の歴史を紹介。昭和33年には児童数3092人、57学級を数え全国有数の大規模校であった

- ・「天井裏見学室」

歴史的な木造建築の屋根裏構造を見ることが出来る

- ・「萩藩校明倫館展示室」

全国の藩校との比較など

- ・カフェ・レストラン「萩暦」

割烹・千代が運営し、萩の旬の味覚が味わえる。有名シエフの熊谷喜八氏や奥田政行氏が監修した料理やデザートが楽しめる。

- ・「お土産ショップ」

「多目的復元教室」のイベント紙芝居(木曜日を除く毎日)、ショートミュージカル(4月29〜30日、5月3日〜7日)

萩の歴史を学び、観光の出発点に

5万人突破



90歳の長い廊下(本館)



朗唱教育「松陰先生のことば」ビデオ上映



昭和32年に完全給食(パン、ミルク、副食)が始まり、42年に脱脂粉乳から生牛乳(瓶入り)に

### ■本館

萩藩校「明倫館」跡地にある明倫小学校の木造の校舎2棟を改築した。明倫館は1718(享保2)年に設立、1849(嘉永2)年に現在地に移転した。木造校舎は2階建てで1935(昭和10)年に建築され、2014年3月まで明倫小学校として使われていた。国登録有形文化財の本館と2号館を耐震化し改修、総事業費は約13億8千万円で、国の交付金や補助金などを活用した。総延べ床面積は約3860平方メートル。

。「観光インフォメーションセンター」大型マルチビジョンで観光名所

### ■2号館

。「幕末ミュージアム」

下関市の小川忠文さんから寄贈された江戸時代の大砲や天文・科学などの資料約4000点のうち500点を展示。日曜と水曜日には小川氏が来館し、展示資料の解説を行う

。「世界遺産ビジターセンター」世界遺産に登録された萩市内の5資産が近代化に果たした役割などを紹介。江戸時代の製鉄を学ぶコーナーでは、足で板を踏んで火に風を送る「ふいご」を体験できる



多目的復元教室での紙芝居

## 萩・明倫学舎

萩市江向602番地

|       |  |
|-------|--|
| 開館時間  | 午前9時～午後5時<br>(萩暦(しストランカフェ)は午前11時～午後9時まで)       |
| 観覧料   | 本館無料<br>2号館 大人300円、高校生200円<br>小・中学生100円(団体2割引) |
| 駐車場   | 普通車 180台(310円/1回)<br>大型バス 10台(1,030円/1回)       |
| 問い合わせ | 萩・明倫学舎推進課<br>TEL (0838) 21-2018                |

# 萩市長選挙 藤道新市長が誕生

任期満了に伴う萩市長選挙が3月19日投開票され、新人の藤道健二氏（57歳）が、現職の野村興児氏（72歳）を約千票の僅差で破って初当選した。

藤道氏は有効投票数のうち、約52%の1万3823票を獲得、合併後4期目、旧市町村時代から通算すると7期目に挑んだ野村氏を逆転した。

市長選挙は合併後4回目、当日有権者数は4万3086人、投票率は62・34%（前回は47・11%）でした。

## 開票結果

|   | 候補者名  | 得票数（票） |
|---|-------|--------|
| 当 | 藤道 健二 | 13,823 |
|   | 野村 興児 | 12,805 |
|   | 無効投票等 | 232    |
| 計 |       | 26,860 |

## ■新市長のプロフィール

藤道 健二 1959年8月生まれ（57歳）

住所 萩市浜崎新町

学歴 明倫小、明経中、萩高等学校

校 1978（昭和53）年卒業（30期）、一橋大学経済学部83（昭和

58）年卒業

略歴 株式会社日本長期信用銀行

中小企業金融公庫（現、株式会社

日本政策金融公庫）

略歴 株式会社日本長期信用銀行

## 藤道新市長

「市民ファースト、市民目線で萩を元気にしたい」



初当選した藤道健二市長は、3月27日初登庁した。藤道市長は市役所幹部職員を前に「これまで金融機関に勤めてきた経験があり、民間人としての経営感覚と常識を市政に持ち込みたい」と決意を示し、「人口減少と高齢化、地場産業の低迷などは構造的な問題。市民のために何をしたらいいかという市民目線を大切に、官民が連携して仕事を進めていくことを心がけるように」などと訓示した。

就任会見では「喜びよりも責任の重さをひしひしと感じている。萩が元氣な町に生まれ変わるよう



市民を巻き込んで変革を進めていきたい」と意気込みを語り、「文化財中心のハコモノ予算を見直す。萩・明倫字舎の3・4号館の整備や旧藩校施設の孔子廟の移設計画については、いったん立ち止まって続けるべきかどうか、有識者らによる委員会を設けて検討し直す」と話した。

## 野村前市長

「老兵は姿を失うが、その心は生き続ける」



3月26日で任期満了となった野村市長の退任式が24日、市役所であった。野村前市長は「初めて市長に就任した1993年当時は、地方自治体が大きく変わろうとしていた時期だった。いろいろな改革を実行してきたが、職員と私は自治体行政の魂を今なお共有していると思う。今まで培われた努力、自治体に対する精神と心を萩市の宝物として受け継いでもらいたい」とあいさつした。

その後、2階の市長室から1階の玄関まで、職員や市民など約500人が並んで見送りの花道を



つくった。涙ぐむ女性職員のなか、両手に持ちきれないほどの花束を抱え、笑顔で萩市役所を去った。野村前市長は、国税庁調査査察部長などを経て、1993年の旧萩市長選で初当選。旧萩市長を3期、合併後の萩市長を3期、通算6期24年間にわたって萩市のかじ取り役を務めた。

## 須佐の「港橋」竣工 7・28豪雨災害からの復旧のシンボル

2013（平成25）年7月28日の秋市東部集中豪雨災害で被害を受けた秋市須佐の「港橋」が復旧し、3月23日に竣工式が行われ、3年8カ月ぶりに通行止めが解除された。

7月28日の豪雨で須佐川があふれ護岸が崩壊した。地区の中心部にあった5橋のうち虹橋が流され、港橋は橋脚がえぐられ使用不能になった。

復旧事業は、河川を管理する県が河口から約1.6kmの川幅を広げている。虹橋は市が復旧し、港橋は

秋市の災害復旧事業と河川改修に併せ山口県が施行した。

橋は橋脚のないコンクリートで河川の拡幅により長さが3m伸び、23mに、幅は8m、総事業費は約4億6700万円。

港橋は国道191号の中津交差点と漁業集落を結ぶ重要路線で、和田眞教副市長（当時、3月26日退任）が「豪雨災害からの復旧のシンボリックな橋になった」とあいさつした。

港橋は豪雨災害に関する秋市の最後の復旧工事になる。今後は、



国が進めている国道191号の「中津橋」、県が進める市道の「龍背橋」の工事が、2020年の完成を目指している。

## 紫福の世界遺産「大板山たたら製鉄遺跡」に展示休憩室が完成

世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である秋市紫福の大板山たたら製鉄遺跡に、団体客を収容できる展示休憩室「大板山たたら館」が完成し、3月25日に竣工式が行われた。

たたら製鉄遺跡は砂鉄から農具などを作る江戸時代の製鉄所。同じく構成資産である樺東の恵美須ヶ鼻造船所に船クギやいかりなどを供給した。

たたら館は、遺跡前の駐車スペースを活用、木造平屋建て約94

平方m。内部は団体客30人を収容

できる研修室とガイドの待機所がある。事業費は約2280万円。

大板山たたら製鉄遺跡では、世界遺産に登録決定後に来訪者が急増し、昨年未までに約2万5千人が訪れている。

遺跡を管理し現地ガイドを行って「福栄文化遺産活用保存会」の小野興太郎会長は「スペースが広く団体客も利用できます」と話している。

同保存会では、昨年は春と秋の2回、「たたらまつり」を開催。

今年もイベントを企画するほか、世界遺産やキリシタン史跡、ジオパーク関連など、紫福の資産を巡るウォーキングイベントも検討している。



## 佐々並の旧小林家住宅

### 地域交流施設としてオープン

萩往還の宿場町として栄えた佐々並市で、明治期に建てられた商家「旧小林家住宅」が保存整備され4月15日、交流活動拠点「萩往還佐々並おもてなし茶屋」としてオープンした。

佐々並市は萩城下町から三田尻港（現防府市）を結ぶ萩往還の中継地として整備され、萩藩主が休憩や宿泊する「御茶屋」が設けられた。現在も、幕末から近代にかけての町並みが残り、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている。

旧小林家住宅は、佐々並市伝建地区の中心地にあり、江戸時

代には萩往還を行き来する人馬の取次などを管理していた「目代所」があった場所に建つ。現在の建物は、明治初期に建てられた主屋と大正後期の土蔵などからなり、建物の寄付を受けた市が保存整備工事を行った。

改修した古民家を公開するとともに、地元「萩往還佐々並みどうしんてやろう会」が来訪者のおもてなしや、佐々並豆腐や漬物などの加工品や地元産品、木工作品などの販売、イベントを開催し地域を盛り上げる。おもてなし茶屋の利用時間は、午前9時〜午後5時（水曜日休み）。

（0838・56・0033）



旧小林家住宅 萩往還沿いの主屋外観



主屋内部 土間

# むつみ吉部の「雲林寺」

## 全国的に「猫寺」として有名

### 猫ブームのなか隠れ癒しスポット

「秋おもてなし大賞」の表彰式が2月24日行われ、むつみ吉部の猫寺「雲林寺」が市民部門で大賞を受賞した。

雲林寺は、中心部から車で約30分離れた山間部のむつみ吉部にある臨済宗の寺。本堂や境内には大小さまざまな猫の置物が約600個設置され、「猫寺」として口コミやネットで広まり、全国各地から猫好きが訪れている。最近では台湾や香港など外国人観光客が増加し、外国語のパンフレットも作成するなど、秋市を積極的にPRし

ていることが評価された。角田住職が製作している、猫のお守りや絵馬などオリジナル猫商品も人気を集めている。

昨年、季刊「猫ぐらし」冬号（アスペクト発行）に特集「秋で猫めぐり」として紹介された。雲林寺の親寺である天樹院（堀内）は、毛利輝元の墓所であり、輝元公逝去の折殉死した家臣・長井元房の墓がある。その元房が可愛かった猫が、主人亡き後49日間、墓石から離れようとせず、その後自

らの舌を噛み切って主人のお供をしたという伝説が残っている。

猫寺となったきっかけは、角田住職の母の親友が集めていた招き猫数十体を、形見分けとして譲り受けたことから。その縁からか、友人や参拝客からも招き猫や猫の置物が託されるようになり、いつしか猫づくしの寺となった。寺を訪れてまず目に入るのが、

山門を守るように座り込む木彫りの猫。境内を進むと猫仏様など数多くの猫彫刻がある。これらは、山口県在住のチェンソーアーティスト・林隆雄さんの作品。

住職の角田慈成さん（47歳）は「21年前にこの地に来て、地元の方から温かく迎えていただいた。寺が猫だらけになっても、猫好きだからと許していただいた。これからは、育てていただいた地域へのご恩返しとして、観光客へのおもてなしに努めたい」と話している。

角田住職は愛媛県生まれ、岡山県で育ち、社会人経験を経た後、広島県三原市の仏通寺、その後山口市の雪舟庭の常栄寺で修業し、1996年に長く空き寺だった雲林寺の住職となった。

#### ■臨済宗「雲林寺」

秋市吉部上2489  
(08388・6・0307)



山門と角田慈成さん



猫かぶりコーナー（あなたも猫になれる!）

## 川上の岡崎酒造

### マレーシアに日本酒「長門峡」を輸出

秋市川上の蔵元、岡崎酒造場の日本酒「長門峡」がマレーシアに輸出されることになり、2月17日に出荷式があり、3月から販売が始まった。

きっかけは昨年10月、在マレーシア日本大使館で開催された村岡県知事のトップセールス「やまぐちの食&観光と元気な企業情報発信会」のレセプション。県産食材35品目が出品された。マレーシアでは甘い酒が好まれることから、貿易会社から「ユズの酒を造っている蔵元の酒がほしい」との希望があり、ユズのリキュールを造っている岡崎酒造場との商談がまとまった。輸出されるのは人気商品の「長門峡」銘柄の純米吟醸と吟醸酒手造りの酒、純米酒のほか、ゆざりキュール、梅酒の全6商品で、現地の輸入商社DOKA社が系列店3店舗などで販売する。岡崎考浩社長（44歳）は「日本酒は日本独自の伝統的な技術で造られていることを海外の人に理解してほしい。」

日本酒を知ることと日本に関心を持ち、山口県の食や酒を楽しみに観光に来てもらえたら嬉

しい」と話している。

■岡崎酒造場  
大正13年に長門峡の近くで創業。昭和45年、阿武川ダム建設のため、現在地に移転した。阿武川の清流に育まれた「長門峡」銘柄は、数多くの賞を受賞している。マレーシアで好評を得た「ゆざりキュール」は、川上の特産ゆざを使った清酒のリキュール。  
秋市川上464-1  
(08388・54・2023)



国内の人口減少や若い世代の酒離れが進む中、日本酒の輸出量は全国的に年々増加し、山口県では過去10年間で7倍に伸びているという。

田中亮大さん  
りょうだい

(旧須佐町弥富出身、  
東京都世田谷区在住、31歳)



推進する事業を営んでいます。

地方創生への解決策である  
リモートワーク

昨年は、大手広告会社の事件をはじめ多くの働き方の是非が問われる機会が生じ、政府も「働き方改革担当大臣」を設置し、日本全体の生産性向上に取り組み始めました。

その解決策の一つに、リモートワークがあります。リモート（離れた場所）でも会社に出社した時と同様の成果を上げる仕組みです。場所が関係ありませんので、在宅やカフェなどで働くことができ、例えば秋にいなからでも、都心と同じ報酬の仕事に就くことができます。これは、インターネットの発達以前は、想像もできない働き方でしたが、IT化された現代においては、何ら障害となるものはありません。唯一あるとすれば、働く人と、導入に踏み切る企業の心理的なハードルだけです。

政府の後押しもあり、企業も導入に積極的です。都心人口の一極集中も回避し、転職をせずともUターンができます。地方産業で雇用を生み出さず都心の仕事を地方で行うことで、結果的に雇用機会や人口増となる、この仕組みができれば地方創生となるわけです。

地元山口でもリモートワークを普及させたい

私の経営する会社では、リモートワークを希望する方々に働く機会を提供しています。親元に戻って介護中や育児で家から出づらいつ、旦那さんの都合で転勤となった方など様々な理由を持つ地方在住の方が働いており、文字通り北海道から沖縄まで日本全国に点在しています。

もっと誰でも気軽にリモートワークができる仕組みを作っていきたく、私自身も実家に戻って働きたいと考えています。同じように秋出身で将来は地元に戻りたいが就業機会に不安を感じている都内在住の方、また仕事の幅を広げたいと思っっている秋在住の方にも

この新しい働き方を知っていただきたいです。野村前市長からいただいたメッセージには、未だ道半ばではありますが、場所による制限で働く選択肢が少なくなっている現状を打破するために、今後とも精進して参ります。

■プロフィール

1985（昭和60）年9月、旧須佐町弥富生まれ。現在も実家は弥富。弥富中学卒業後、萩高校に進学、硬式野球部に所属、萩市平安古町で下宿生活を送った。2004（平成16）年卒。08年北九州市立大学外国語学部卒、外資系製薬会社入社。16年、タクセル（株）を立上げ、時間と場所にとらわれない働き方を推進している。インサイドセールス協会（社）理事も兼任。

萩高校卒業式での野村市長  
(当時)の衝撃的な祝辞

「君たちは、現代日本の基礎を築いた歴史ある秋藩の後輩である。卒業後、進学等で県外に出ていく人も多い。一度、故郷を離れたら先達たちのように日本を変える！社会を良くする！という大志を抱き、事を成すまで戻ってくるな。生平可な気持ちで親元を離れてはならない。もし、中途半端な想いなら、今すぐ取りやめて萩に残りなさい。」

2004年の春、10年以上の前のことで、言葉尻は私の記憶の脚色があると思いますが、ただ田舎を離れたい一心で都会に憧れていた私には、衝撃でした。それ以来、萩出身であることに誇りを持ち、常に社会課題を解決するための仕事は何かと自分に問うようになりました。

大学卒業後、大手企業に就職しましたが、鶏口牛後（けいこうぎゅうご）を胸に退職小提灯ながらも会社を立上げいくつかの会社経営に携わってきました。現在は、時間と場所にとらわれない働き方||リモートワークを



実際に地方（在宅）で、都心と同じ内容・報酬にて働く女性

※新聞各紙(山口3/29、産経3/30、毎日4/5)で紹介されました。

## 岩川旗店「大漁旗」グッズ

～あなたの暮らしに「おめでたい」をお届け～

明治初期に秋市古秋町で創業した染物店。代々伝わる伝統技術を生かし、大漁旗をはじめ、神社の幟や暖簾などを制作しています。が、染める際に出してしまう「染め損じ」や「ハギレ」を使って、赤ちゃんのおくるみやちよっとした

小物を作ってみましたところ大好評！これをきっかけに岩川旗店のオリジナルグッズが生まれ、暮らしのなかに「おめでたい」をお届けするようになりました。「秋の風」店頭では、「手ぬぐい」や「バック」、「クッション」をはじめ豊富

なアイテムを揃えています。

色鮮やかな染色がお客様の目を引き、開店当初から非常に人気が高かった商品で、時には品切れ状態になることもあるほどです。特に、鯛柄で染められたアイテムは「おめでたい」という意味合いから、普段使いから贈答までいろいろな場面で使われているほか、秋の市花である「椿」や秋の特産品である「夏みかん」をデザインしたものなどもあり、国内はもとより海外の方からも好評をいただいています。

### 株式会社 岩川旗店

〒758・0028 秋市古秋町  
40番地

TEL: 0838・22・0273

FAX: 0838・25・4646

URL: www.iwakawahaten.com

営業日 平日: 午前9時～午後6時  
祝祭日: 午前10時～午後5時  
(定休日: 不定休)

### まるごとにつぼん「秋の風」

東京都台東区浅草2-6-7  
TEL: 03・5828・5055



## 道の駅・秋しーまーと通信 旬のお魚「秋の瀬つきあじ」

秋の海でこれから一段とおいしくなる魚がいます。秋の家庭でも、市内の食事処でもよくみかける大衆魚。5月から8月にかけて「秋の瀬つきあじ」が旬を迎えます。

今や市内だけでなくどまらず、県外でも人気が高まっている秋の瀬つきあじ。正式名称はマアジです。マアジは九州方面五島列島の西沖で生まれ、対馬暖流ののって日本海沿岸を北東へ移動します。秋沖は大小の島々とアカバ瀬やカキノ瀬といった天然の岩礁に恵まれています。起伏の激しい海底にはたくさんのプランクトンが発生。

快適な秋沖の瀬に自然とすみつくマアジ。豊富なエサを食べて育ち、脂がたつぷりのつてぶつくらと姿がたちがよくなります。これらのマアジが秋の瀬に居ていることから「瀬つ



きあじ」と呼ばれます。

漁の方法は、大島を中心とするまき網漁です。アジは群れで泳ぐため、その行動に合わせて網で囲い一気に漁獲します。主な漁場はもちろん秋沖の瀬。漁は夕刻に出港し、午前2時から1番競り、午前4時半からの2番競りに獲れたての瀬つきあじが届きます。漁場が近いため鮮度のよい状態で秋の市場に水揚げされています。

地元で新鮮な瀬つきあじを食べるならやっぱり刺身。春から夏にかけては特に脂のりがよくなり旨みもたつぷりです。そして旬の時期に獲れる瀬つきあじは干物にも最適。開いた身に塩をして乾かすので表面に膜ができます。この膜が内部に水分を閉じ込め、焼くとジューシーで旨みが凝縮されたおいしさを味わえます。鮮魚に比べて日持ちするのでお土産としても好まれています。今年も3月からまき網漁が始まり秋の市場も活気づいています。

### 秋の瀬つきあじ祭り

7月2日(日)10時～13時(予定)



小川 忠文 ただふみ さん (下関市、77歳)



幕末ミュージアムの展示品、初めて手にした管打式短銃と

萩・明倫学舎「幕末ミュージアム」展示資料を寄贈

約56年をかけ収集した幕末維新期の歴史・科学技術史の資料を萩市に寄贈し、「幕末ミュージアム」として今年3月に萩・明倫学舎2

号館にオープンした。現在、萩市幕末史料専門員として史料保全に従事される幕末歴史資料コレクターの小川忠文さんにお話を伺い

ました。 考古学から

下関市の彦島で生まれ育ち、高校卒業後は明治大学で考古学を学びました。考古学への関心は、中学2年のときに出会った本がきっかけで、以後考古学へのめり込みます。大学では考古学一般論を学びつつ、主に縄文時代を研究し、趣味で骨董器屋を巡る日々を過ごしていました。

そんな私が幕末期の歴史資料を集めるきっかけとなったのは大学3年の秋、アメ横のモデルガン店で管打式短銃と出合っただけです。仕送り1カ月分の値がする物を使い切って購入したその興奮は今でも覚えています。その後、卒業までの1年半の間に幕末期の銃を11丁ほど、更には火薬入れ、陣笠、陣羽織、鎧など、幕末歴史資料への収集熱は増すばかりでした。

コレクターの人生

学生時代の大半の時間を費やした考古学は大学卒業と同時に止め、自動車時代到来に備え、職業訓練所に通い、整備の免許を取る段取りを経て、地元に戻ります。帰郷してからも働きたがらず幕末歴史資料を見たり買ったり、時には手に入れたものを欲しがるといいます。手渡したりと、収集は続けていきました。その中でも古式銃・鉄砲の

収集が好きで、働きながら収集するより骨董屋になるほうが手取り早いと、古物商の免許を取ったのが24歳のときでした。

それからはオークションに参加し、勉強のために全国各地に出向き、古物商として一番重要な目を鍛えていきました。それでも若いときは偽物をつかまされることもあり幾つかの失敗を経て、商売では古美術全般を扱いながらも、プライベートでは幕末関係に絞り集めていきました。

天からの預かりもの

今から20年前、山口県萩市に「明治維新館」建設の計画を立てられたとき、私のコレクションを寄贈し、展示物として一挙に扱ってもらいたいと考えていました。というのも、古美術というものは当たり前ながら、その時代その時代で所有者が変わっていくもので、別の表現をすれば「その時代の所有者がお金を払って手にしている天からの預かりもの」となります。

そして、私の生涯をかけ集めた約4300点もの貴重な幕末歴史資料も、このまま私が亡くなればその一つひとつが次世代の借り手に分散されてしまいます。散り散りとなって行方がわからなくなってしまうのであれば、しかるべき所に寄贈し、全てを所蔵管理してもらった方が後世のためになると

思ったからです。しかしながら明治維新館の計画は頓挫し、立ち消えとなりました。

明治維新胎動の地で後世に

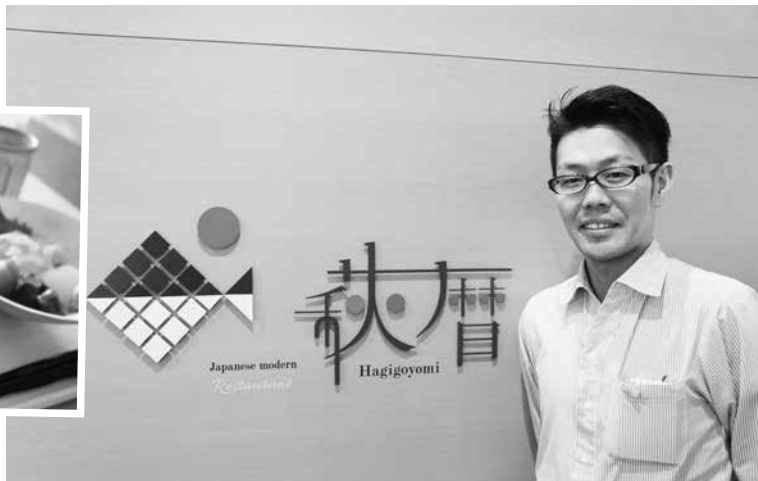
ちょうど時を同じくして野村前萩市長と出会い、この資料は萩市にあることで価値が増すものであり、萩市にその気があるのなら寄贈する所存であることを伝えていきました。当時すぐには受け入れてもらえずにいました。その後15年ほどの間、これらコレクションは国立科学博物館や江戸東京博物館など、全国30カ所で開催されながら時が過ぎるのを待ちます。そして、旧萩明倫小学校跡地の活用計画の際、野村前市長から「世界文化遺産に登録された萩市の観光の起点となる施設で」とお話をいただきました。喜んで寄贈し現在に至ります。

誇りに思うのは「萩・明倫学舎」への改装の際、幕末ミュージアムのレイアウトについて意見させてもらったことです。他の博物館展示では味わえぬ、このコレクションのためだけのレイアウトになっております。ぜひ、幕末維新期の歴史・科学史の貴重な資料を明治維新胎動の地、萩・明倫学舎で現代を生きる人はもとより、遠い未来を生きる人にも堪能していただきたく思います。



# カフェ・レストラン「萩暦」はぎごよみ

小学生時代の思い出話に花を咲かせるような  
温かい空間を目指しています



店長の河村光昭さん



暦ランチセット



ミニ丼セット



スパイシーカレー

3月4日オープンした萩・明倫学舎の1号館にあるカフェ・レストラン「萩暦」は、割烹・千代の系列店として、観光客のみならず地元の人にも人気のスポットになっています。

店名の由来は、四季折々の萩の

素晴らしい食材を使い提供することで、お客様に料理を通じて萩の暦を感じていただきたいというコンセプトから、店内は白を基調とした清潔感溢れるもので、旧明倫小学校の佇まいを残しながらも、つい数年前まで小学校の校舎としてあった施設とは思えない空間となっています。メニュー考案は、萩市と関わりが深く、海外でも活躍されている料理人、熊谷喜八さん、奥田政行さんの監督の下に行われ、日本人観光客だけでなく海外から来られる観光客の方に対しても、和食だけに留まらないメイドイン萩の料理を堪能できるものとなっています。

## 人気メニューは

割烹・千代でも提供されているはぎ御膳を数量限定で出される他、人気メニューとなっているのは、ひと手間もふた手間もかけた小鉢が6点、萩沖で獲れた旬の魚介類の刺盛にご飯と汁椀が付いた「暦ランチセット」と、海鮮・肉・天ぷら3種の丼を少しずつ一度に楽しめる「ミニ丼セット」。どちらとも前述したように四季折々の旬の食材を使用され、飽きが来ないだけでなく季節の移り変わりを感

じることが出来るメニューです。これら2枚看板となる日替りセットの他には、熊谷喜八さん考案の長州鶏のスパイシーカレー、

季節野菜のグリーンカレーにハヤシライスもラインナップされ、気軽にランチできるメニュー構成となっています。日替りセット同様、カレーもまた季節の移り変わりにあわせ変化を見せていくとのこと。また、喫茶スペースも併設されていることもあり、デザートにも抜け目なく、常時数点の手作りデザートを用意されています。

## リーズナブルな価格 予約制で夜営業も

以上がランチメニューとなっていますが、萩暦の驚くべきところは二つあり、一つは観光施設内にある飲食店にも関わらず、とてもリーズナブルな価格になっているところ。もう一つは藩校明倫館跡地という観光地であり、元小学校校舎という建物内であるにも関わらず完全予約制ではありませんが夜営業もされ全国的にも珍しい「コソテンツ」となっているところ。夜営業のメニューはお任せのコース料理(3000円)のみとなっており、こちらもお手ごろの価格となっています。

## 市外の方も帰郷の際には

それら全ては、観光客だけでなく地域住民にも愛されるお店でありたいという強い思いからのもので、店長の河村光昭さんは「多くの卒業生の思い出が詰まった校舎

ですので、その思い出を消し去るようなスペースであってはならないと考えています。食事をしながら、コーヒーを飲みながら、小学生時代の思い出話に花を咲かせることのできる温かい空間を目指しています。また藩校明倫館の跡地ということで、教育についてや、これからの時代を語り合えるような、活気のある場所になってもらえればと思います」と言われます。

明倫という歴史のある場所です。萩の本物を提供する。その拠点となるべく満身の力を込めて訪れる方をおもてなしされる「萩暦」、市民の方ももちろん、市外にお住まいの方も帰郷された際には、萩を訪れる際にはぜひお運びしていただきたいお店です。

## ■萩暦(はぎごよみ)

萩市江向602(萩・明倫学舎1号館1階)  
電話 08388・25・8543  
営業時間 カフェ11時~17時 / レストラン 昼・11時~15時 夜18時~21時(完全予約制)  
・メニュー(税別価格)  
はぎ御膳(2400円) / 暦ランチセット(1280円) / 3種のミニ丼セット(1580円) / 長州鶏のスパイシーカレー(980円) / 季節野菜のグリーンカレー(980円) / ハヤシライス(980円)

# 若手経営者の会「維新塾」 台湾視察旅行の活動報告

「維新塾」事務局  
秋山口信用金庫

津田 剛さん  
つよし

(秋高校平成5年卒、42歳)



芝山殿恵濟宮前で  
の記念撮影 (右から  
2番目が筆者)



商田実業有限公司  
での意見交換

近年、「地方創生」の旗印の下、全国的に「定住人口の増加や」地方経済の活性化」に向けた取り組みが盛んになってきています。無  
論、我が町秋市においても官民一

体となつて様々な取組みを行つて  
いるところではあります。依然  
として人口減少に歯止めがかから  
ず、自治体の存続可能性が危惧さ  
れる「消滅可能性都市」に指定さ  
れている状況にあります。  
そもそも人口減少を食い止める  
ためには、雇用の創出が必要不可  
欠であり、そのためには地域経済  
の活性化が求められますが、現状  
としては山陰地区及び近隣自治体  
では少子高齢化の進行に伴い経済  
も疲弊している状況です。今後、  
山陰地区の企業が発展を成し遂げ  
るためには、思い切つて海外との  
商取引による事業規模の拡大を検  
討していく必要があると考え、ま  
ずは親口家が多いという台湾への  
視察旅行を企画いたしました。

## ■宮崎県産業振興機構主催 の試食会見学

宮崎県では、予てより輸出によ  
る経済発展を志向されており、宮  
崎県産業振興機構を中心に「台湾  
塾」と称したセミナーを開催。そ  
の一環として、台湾最大手デパー  
トである「太平洋SOGO」にて  
「試食会」を開催され、台湾消費  
者の日本製品に関するブランド志  
向は高いとのことでした。

## ■商田実業有限公司にて秋 産品の意見交換

商田実業は日本産品を輸入し、  
台湾国内で販売する商社です。日  
本の各県との連携を行い、日本で  
も商談会を開催されています。2  
日後には福岡県知事が当社へ訪問  
されることとでした。

林董事長(会長)、林社長、輸入  
担当者の陳氏と、維新塾会員が持  
参した秋産品の台湾国内での販売  
可能性について意見交換を行いま  
した。

台湾国内で販売し、売れる商品  
とするために、商品サイズやパッ  
ケージデザイン、価格等について  
様々な意見をいただきました。ま  
た、同社が全面的にバックアップ  
するので台湾での試食会を通し、  
消費者の反応を見てみたらどうか  
との提案もいただき、同行した維  
新塾会員も試食会の開催に対し前  
向きに検討したいと回答しました。

## ■商田実業有限公司エス コートによるデパート現場 視察

台湾高級デパート3店舗の視察  
と売場責任者との意見交換を行  
いました。

デパートの食品売り場では、愛  
媛県八幡浜市が試食販売会を開催  
していました。市長自ら販売員と  
して参加されており、八幡浜市の  
海外展開への本気度が感じられま  
した。また、別の売り場では、島  
根県の商品が一つの棚にまとめら  
れ、商田実業の販売員が商品説明  
を行いながら販売していました。  
生鮮コーナーでは、日本産の  
キャベツが一玉1080円(日本  
円に換算すると約4000円)で  
販売されており、「食品の安全」

が大きな付加価値を生むことを実  
感しました。

今回の視察旅行を経て、これか  
ら台湾への輸出を成功させるため  
には、台湾国内で厳格化した「成  
分表示」への対応は無難なこと、  
日本国産を明示することに併せて  
デザイン性も両立させる商品づく  
りが必要であると感じました。ま  
た、台湾でのビジネスは人的交流  
を踏まえた上での商取引を好むと  
のことから、維新塾では、今回の  
視察によって培った人脈を大切に  
し、今後の海外展開に役立ててい  
きたいと思えます。

### ◎維新塾参加会員

(有)新谷砕石・新谷純(維新塾会長)、  
(株)大商店・大嶋直隆、(有)千代・  
河村剛太郎、矢次蒲鉾店・矢次勝  
己、(株)スナダフーツ・大島透、(株)  
サン精機・楠年禮勲

### ◎秋山口信用金庫若手経営者の会 「維新塾」

会員相互の情報交換と経営問題  
に関する研修などを通じて、会員  
の経営資質の向上と、その企業の  
健全な発展を図ることを目的に、  
平成19年より活動を行つています。  
現在会員数35名(うち秋市経営者  
33名・長門市経営者2名・平成28  
年12月末現在)。「維新塾」への加  
入は随時行っています。

# 岩崎酒造「ミラノ万博2015」に参加して

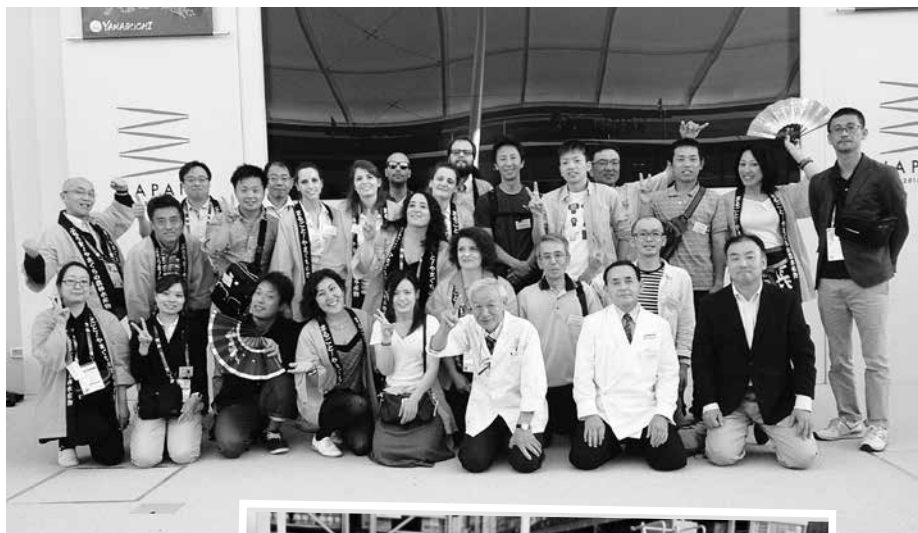
世界の中で、日本酒をとりまく文化に自信をもって伝えていきたい

岩崎酒造 代表取締役社長

## 岩崎喜一郎さん

きいちろう

(秋高校昭和58年卒、52歳)



集合写真 (前列右端が筆者)



■メインテーマは「食」の文化  
4年に一度開催される国際万国博覧会。2015年はその開催の

年にあたり、開催地はイタリアのミラノで5月1日から開幕された。開催のメインテーマは「食」の文化で、このミラノ万博に山口県も

行政単位として全国に先駆けて出展することとなった。

出展するのは日本館の3階部分にあるイベントスペースで期間は4日間。出展は展示とステージでのプレゼンテーションからなり、そのうちのステージイベントには「ぶぐ刺し」「やまぐちの日本酒」「向井神楽」「岩国館」などが選ばれ、それぞれ関係する団体から参加者を集め派遣団が結成された。私は県の酒造組合からの推薦で「やまぐちの地酒」を紹介するためにミラノへと向かうこととなった。

### ■広く世界に市場を求める

日本国内では景気の都合や焼酎などの酒類の台頭として若者のアルコール離れなどもあって長らく低迷してきた日本酒の消費であるが、ここに来て持ち直そうとしている。そのような中で、ここ山口の地酒はいち早く9年前より出荷量を伸ばし続けている。しかしながら依然日本国内での消費拡大は難しく、広く世界に市場を求めていく輸出の拡大は業界でも喫緊の課題となっている。日本の和食文化がユネスコの世界文化遺産に選定されたこともあり、和食の世界への広がりとともに日本酒も海外に広く紹介されるようになってきた。

### ■やまぐちの地酒を紹介

今回私に求められたミッションは大まかに3つ。まずはミラノ万博の日本館ステージイベントでやまぐちの日本酒のおいしさを紹介すること。二つ目は万博とは別の会場（イタリアでは最大級の業務用食材の卸売スーパー）にて山口の食材コーナーを開設して開催される商談会に参加すること。そして、三つ目にフリーの時間となる夜の時間に自分の造るお酒「長陽福娘」の紹介を兼ねて現地のレストランの日本酒事情を視察して歩くことであった。

万博での日本館は、会場全体の中でも人気のパビリオンのようで、常に1時間待ち程度の行列ができていた。私たち山口県の展示もなかなかの人気で、やまぐちのお酒もまずまずのアピールができたのではないかと思っている。

### ■食は文化を抜きには語れない

様々な体験から感じたことをまとめてみると、「食」というのはその地域の文化を凝縮したものであり、気候風土や歴史に育まれた文化を抜きにしては語れないものであるというのを強く感じた。日本酒も日本の文化を代表する大切なものである、和食とともに、お酒を造りだす私たち自身がその伝統と味わい、そしてそれらを取

り巻く文化そのものに自信を持って伝えていく努力をすることが必要であると強く感じた。

### ■秋のつなかりに感謝

当時は周りのサポートや勢いに任せてイケイケで渡航したのだが、海外にアピールするには自分の住む地域をどれだけ理解しその特徴や独自性を生かしているかが大切だと感じている。そして何とんでも今を一生懸命生きることが大事だな。

もう一つ改めて感謝しなくてはならないのが秋のつなかり。現地ですपोर्टしていただいた秋高校の先輩であるペリグリーノ和江さん（旧姓鬼村さん）。彼女の協力がなければ英語も含めて語学の全く駄目な私が彼の地であれほどの充実した体験はできなかったと改めて感じている。そしてこのふるさとのつなかりに感謝しつつ、自分自身も他者に貢献できるようになれたらいいなと決意を新たにしました。

### ■岩崎酒造株式会社

明治34年創業。銘柄「長陽福娘」の由来は、創業当時蔵元の家に女子が続けて誕生したのを受けて「福々しい良い子に育つように」と願いをこめて銘々された。  
住所：萩市東田町58（08338・22・0024）

# 映画「八重子のハミング」 佐々部清監督インタビュー



た。製作費集めなど、ゼロから始めた映画はこれが初めてです。30ページほどもあるパンフレットも自分で責任編集して作り、大林宣彦監督や山田洋次監督、谷村新司さん、落合恵子さん、羽田美智子さんのコメントも、自分でもらいに行きました。こんなこと今までやったこともありません。だから、いつものように、公開から半年たったらDVD化という形にはしたくないですね。

## ○萩での撮影中、印象に残っていることは？

山口県内で製作費集めをしていた際、人口や企業が少ないということもあるでしょうが、萩市は順調に進みませんでした。しかし、行政も支援してくれ、それでも足りない分は、地元の支援者の方たちが協賛金を集めてくれました。また、その方たちが、撮影中には食事の応援や車の手配などいろいろ助けていただき、応援いただいた方も多く感謝しています。

## ○萩出身者の方々にメッセージを

田床山や椿群生林、藍場川などで撮影したシーンは、天気や時間帯、光線の入り方など、こだわりを持って撮影しました。原作者は陽先生ですがありますが、佐々部が作った、升毅さん初主演、高橋洋

子さん28年ぶりの銀幕復帰作の映画として、ぜひ劇場で観てもらえるといいなと思います。

## ■ストーリー・キャスト

どこからか聞こえてくる男性の声・・・「やさしさの心って何？」と題された講演。舞台上立つ白髪の老人・石崎誠吾。若年認知症を患った妻・八重子の介護を通して、自らが経験したこと、感じたことを語っていく。

誠吾の口から、在りし日の妻・八重子との思い出が語られる。かつて音楽の教師だった八重子は、徐々に記憶を無くしつつも、誠吾が歌を口ずさめば笑顔を取り戻すことも・・・。

家族の協力のもと、夫婦の思い出をしっかりと力強く歩んでいく誠吾と八重子。山口県・萩市を舞台に描く、夫婦の純愛と家族の愛情に溢れた12年間の物語。

監督・脚本：佐々部清  
原作：陽信孝「八重子のハミング」(小学館)

出演：升毅、高橋洋子、文音、朝加真由美、井上順、梅沢富美男  
エンディング曲：谷村新司「いい日旅立ち」



上映時間：112分  
5月6日(土) からは有楽町スバル座ほか全国ロードショー

## ■劇場案内

○関東地区 東京・横浜のみ掲載  
その他の地区は情報アラカルト(14ページ)に掲載。

・有楽町スバル座 (JR有楽町駅日比谷口 有楽町ビル2階) 03-3212-2826

5月6日(土) <

・新宿武蔵野館 (JR新宿駅中央東口 ビックロ裏 武蔵野ビル3階) 03-33354-5670

5月6日(土) <

・横浜ニユーテアトル (JR関内駅北口 伊勢崎町2丁目) 045-2611-2995

5月6日(土) <

\*上映時間など詳細については各劇場にお問い合わせください。

\*劇場情報は決定次第「八重子のハミング」公式ホームページの劇場案内が順次更新されます。

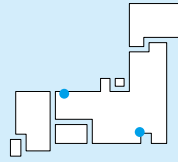
## ○この映画への思いは？

僕は、何のために映画を撮るのかをすごく大切にしています。これから日本はますます高齢化が進んでいき、介護の問題は切っても切り離せない問題になっています。だから、この映画が必要だと思ひ作りました。

しかし、全ての映画会社から中高年向けの映画は客が入らない、地味だと言われ支援を断られまし

昨年10月末から山口県内で先行上映され、萩ツインシネマでは現在も好評上映中の「八重子のハミング」。金谷天満宮宮司(萩市椿の陽信孝さんの自伝が原作。萩市内でロケが行われ、皆様には懐かしい風景が多く登場する一方、アルツハイマー病や老老介護をテーマに夫婦の純愛を描いています。

この映画を「命を懸けて撮影した」と公言される佐々部監督にお話を伺いました。



「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。  
hagi-network@city.hagi.lg.jp

会員投稿  4月1日 千春楽・味楽亭(萩市)

## 萩高9期(昭和32年卒) 60周年同期会



50周年の時は、C・Wニコルさんの講演「誇り高き日本人でいたい」を萩高在校生にプレゼントし、同級生による「草履とり」のアトラクション、そして記念植樹の「しだれ桜」2本は萩市中央公園で我々の背を遙かに越して成長している。  
今年の参加者は55名。同級生主役の映画「八重子のハミング」を観照。幹事はY君が現役時代の「小郡駅長(現新山口駅)の制服制帽姿で務めた。卒業以来初めてという2名もいて28:27の男女半々、「ときめきの時間」を楽しく過ごした(なに後期高齢者の不整脈です)。

会長 山本貞寿(萩市椿東)

会員投稿  3月8日 ホテル・モントレ横浜(横浜市)

## 東京38会(萩高昭和38年卒) 同期会



毎年3月8日は恒例となっている「東京38会」を今回横浜の山下公園近くのホテルで開催しました。23名(男15名・女8名)の参加者。遠くは岩手県、長野県から馳せ参じてくれました。宴会は午後1時から、小学・中学・高校時代の思い出話や近況報告の「想い出話し3分間」のスピーチを各人やってもらい大いに盛り上がりました。おみやげに、萩名物「なすの辛し漬け」の材料「萩からし」(レシピ付き)を全員に配りひさしぶりに懐かしい郷土の香りを満喫させてもらったと大好評。

来年は東京都内で開催し、萩・関西地区の同期生も呼びかけ、再会を約束して7時間の同期会を終了しました。

幹事 矢次敏雄(神奈川県横須賀市)



### 観光の起点

「13市6町の皆さまとともにオー  
ル山口で、J1昇格に向けて今  
シーズンを戦っていききたい」と意  
気込んでいる。

佐々並出身の河村孝社長

1995年、現  
役を引退し帰郷  
現レノファ山口  
FCアカデミー  
の指導者を経て、  
2012年にはレ  
ノファの監督を務  
めた。

河村社長は、佐々並スポーツ少  
年団でサッカーを始め、佐々並小  
中学校を経て山口高校に進学した。  
山高時代には3年連続で全国選  
手権に出場、2年時にはベスト8  
入りするなど活躍した。高校卒業  
後はマツダなど実業団、横浜フ  
リューゲルス、福  
岡ブルックスなど  
に所属した。



レノファ山口FCの公式マスコットキャ  
ラクター「レノ丸」  
のまちには  
レノファが  
いる

## レノファ山口 萩市を含む山口県内全市町をホームタウン化

# 情報アラカルト

## 海外

■「京畿世界陶磁ビエンナーレ」  
人間と生を素材にした現代陶磁作品で、三輪休雪の作品が展示されます。

4月22日(土)～5月28日(日)  
韓国 利川市 利川セラピア

■「茶の文化」箱から飛び出す小さな宇宙」  
納富晋の青秋茶盤などが展示されます。

6月15日(木)～7月20日(木)  
米国 ニューヨーク日本クラブ

## 関東地区

■ふるさと秋・小川会

旧田万川地域小川の関東地区同郷会。

6月4日(日) 正午～午後3時  
東京都品川区大崎1・6・3  
ニューオータニイン東京

(090・9673・2296) 佐伯

■第1回自治体合同物産展 おすすめふるさとマルシェ

5月3日(水)～4日(木)  
秋市など10市が参加し、チョンマゲビール、忠小兵衛かまぼこなどを販売。

東京都台東区浅草2・6・7

まるごとにつぼん3階

(03・5828・5055)

■「三輪和彦 個展」

5月16日(火)～22日(月)  
神奈川県横浜市西区高島2・18  
そごう横浜店

(045・465・2111)

■「水津和之 作陶展」

6月29日(木)～7月4日(水)  
東京都豊島区西池袋1・1・25  
池袋東武百貨店6Fアートギャラリー

(03・3981・2211)

## 東海地区

■東海指月会

東海地区の萩高同窓会。

6月18日(日) 正午～午後2時  
愛知県名古屋市中村区(名古屋駅前通りユニモール地下街11番出口)

名古屋キャッスルプラザ3階鶴の間

(0566・994・069) 吉岡

## 関西地区

■つばき会関西支部

関西地区の萩商工同窓会。

6月17日(土) 正午～午後3時  
大阪市中央区天満橋京町(地下鉄天満橋駅下車)

大阪キャッスルホテル3階錦城閣

(06・63389・1547) 烏田  
■関西山峡会  
旧旭村・川上村の関西地区同郷

会。

6月25日(日) 午前11時～午後3時  
大阪市都島区網島町(JR東西線大阪城北詰駅から徒歩1分)  
太閤園

(0742・41・2023) 青水

■「岡田泰・渋谷英一 萩焼二人展」

4月26日(水)～5月2日(火)  
大阪市阿倍野区阿倍野筋1・1  
あべのハルカス近鉄本店

(06・6624・1111)

■藤田美術館「ザ・コレクション」  
春季と秋季に所蔵品による企画展。9件の国宝など約50件の藤田伝三郎ゆかりの作品を展示。

3月4日(土)～6月11日(日)  
大阪市都島区網島町10・32  
藤田美術館

(06・6351・0582)

■「岡田裕・泰 父子展」

6月13日(火)～19日(月)  
兵庫県神戸市中央区小野柄通8丁目1・8・8  
神戸そごう

(078・221・4181)

## 中国地区

■つばき会広島支部

広島地区の萩商工同窓会。

7月8日(土) 午後6時30分～  
広島市南区金屋町1・17  
ワークピア広島(旧広島労働会館)

(080・6332・1159) 土佐岡

## 映画「八重子のハミング」劇場案内

○関東地区 (東京・横浜は12ページ)

|    |          |              |              |
|----|----------|--------------|--------------|
| 東京 | 5/27(土)～ | イオンシネマ日の出    | 042・588・0722 |
| 東京 | 5/27(土)～ | 船橋シネパル       | 03・5658・3230 |
| 千葉 | 5/20(土)～ | イオンシネマユーカリが丘 | 043・463・9922 |
| 埼玉 | 5/13(土)～ | イオンシネマ大宮     | 048・654・9494 |
| 茨城 | 5/13(土)～ | イオンシネマ守谷     | 0297・47・0101 |
| 群馬 | 5/20(土)～ | イオンシネマ太田     | 0276・47・8277 |

○関西・東海地区

|     |          |           |              |
|-----|----------|-----------|--------------|
| 大阪  | 5/13(土)～ | シネ・リーブル梅田 | 06・6440・5930 |
| 京都  | 6/24(土)～ | 京都シネマ     | 075・353・4723 |
| 兵庫  | 6/3(土)～  | 元町映画館     | 078・366・2636 |
| 奈良  | 5/13(土)～ | イオンシネマ西大和 | 0745・31・7172 |
| 和歌山 | 5/13(土)～ | イオンシネマ和歌山 | 073・456・5055 |
| 愛知  | 5/6(土)～  | 名演小劇場     | 052・931・1701 |

○九州地区

|     |         |           |              |
|-----|---------|-----------|--------------|
| 福岡  | 6/3(土)～ | シネプレックス小倉 | 0570・783・460 |
| 鹿児島 | 6/3(土)～ | ガーデンズシネマ  | 099・222・8746 |

※上映時間など詳細については各劇場にお問い合わせください。  
※劇場情報は決定次第「八重子のハミング」公式ホームページの劇場案内が順次更新されます。劇場案内は4月24日現在。

○東北・北海道地区

|     |          |              |              |
|-----|----------|--------------|--------------|
| 北海道 | 6/17(土)～ | ディノスシネマズ札幌劇場 | 011・221・3802 |
| 青森  | 6/17(土)～ | フォーラム八戸      | 0178・38・0035 |
| 宮城  | 6/17(土)～ | フォーラム仙台      | 022・728・7866 |
| 山形  | 6/17(土)～ | フォーラム山形      | 023・632・3220 |
| 福島  | 6/17(土)～ | フォーラム福島      | 024・533・1515 |

○中国・四国地区

|    |                    |             |              |
|----|--------------------|-------------|--------------|
| 岡山 | 5/6(土)             | 岡山メルパ       | 086・221・0122 |
| 広島 | 5/13(土)～           | イオンシネマ広島    | 082・261・1310 |
| 山口 | 5/13(土)～           | イオンシネマ防府    | 0835・22・9066 |
| 山口 | 5/13(土)～           | MOVIX周南     | 0833・45・2600 |
| 山口 | 好評上映中<br>5/12(金)まで | 萩ツインシネマ     | 0838・26・6705 |
| 香川 | 5/6(土)～            | イオンシネマ宇多津   | 0877・49・8450 |
| 愛媛 | 5/6(土)～            | イオンシネマ今治新都市 | 0898・25・8107 |

■広島指月会

広島地区の萩高同窓会。

7月15日(土)午後3時〜  
広島市南区的場(広島駅から徒歩5分)

ホテルセンチュリー21広島

(0822-2871506) 西村

■「山口伝統工芸展2017巡回展」

岡田泰、松尾優子の作品が受賞しました。

5月16日(火)〜22日(月)

広島県広島市中区基町6・27

そごう広島店美術画廊(選抜展)

(0822-2252111)

山口県関係

■つばき会山口支部

山口地区の萩商工同窓会。

6月24日(土)午後6時30分〜

山口市湯田温泉4・5・2

ホテルかめ福

(0833-9323599) 中嶋

新規(再)加入会員

羽倉義征 (兵庫県神戸市)

嶋沢裕志 (千葉県松戸市)

中野恵子 (萩市)

松浦好洋 (萩市)

エー・エス株式会社(東京都中央区)

瀧口純二 (兵庫県西宮市)

玉井清太郎 (大阪府豊中市)

田村礼子 (大阪府寝屋川市)

(2月21日〜4月20日) 8人

■「山口伝統工芸展2017巡回展」

岡田泰、松尾優子の作品が受賞しました。

5月10日(水)〜15日(月)

下関市竹崎町4・4・10

下関大丸7階文化ホール

(0833-2321111)

■「吉田松陰肖像画の絵師 松浦松洞」

4月18日(火)〜5月21日(日)

山口市春日町8・2

山口県立山口博物館

(0833-9220294)

■高杉晋作没後150年記念企画展 焦心録「晋作が翔けた下関」

4月1日(土)〜5月28日(日)

下関市長府川端2・2・27

下関市立歴史博物館

(0833-2411080)

萩市関係

■「森川翠水・水墨画展」

萩高校昭和38年卒、東京都在住

の墨画家の個展。

8月17日(木)〜29日(火)

萩市民館小ホール

(0838-251234)

出版情報

■萩博物館特別展高杉晋作没後

150年記念「高杉晋作の決意

明治維新への助走」図録

編集・執筆 一坂太郎(萩博物館

特別学芸員)

定価 1000円(税込)

テレビ・映画情報

■ラジオ深夜便

5月4日(木・祝)午前4時〜

NHKラジオ第一

短歌を通じた妻の介護について

映画「八重子のハミング」原作者

の陽信孝さんが出演(約40分)。

プレゼント

①映画「八重子のハミング」パン

フレット(升毅、佐々部監督のサ

イン入り)を1名様

②「高杉晋作の決意 明治維新へ

の助走」図録を1名様

③高杉晋作グッズ(B5ノート、

クリアファイル、一筆箋)を3名

様 萩・下関高杉晋作広域連携事

業協議会提供

■応募方法 ハガキに品名、住所

氏名、電話番号、近況等を明記の

うえ、萩ネットワーク協会プレセ

ント係まで。5月20日(消印有効)。

編集後記

。ズームアップ(6ページ)で触

れているように、萩を巣立ってい

く高校生たちに、野村前市長は四

半世紀近く激励し続けた。市長退

任は一時代の終わりを感ずる。

。これまで同様、萩ネットワーク

を通じて萩の姿を伝えていきます

ので、よろしく願っています。

(広報特別参与 山本)

新刊案内

53 名君 毛利敬親

小山良昌(毛利博物館顧問)

A5版 70ページ 620円(税込)

13代萩藩主毛利敬親は、その人柄は温厚、剛健。先見性に優れ、国内外の情報を積極的に収集し、人材の登用、藩財政の再建、明倫館を移転拡充して文武の奨励、社会的弱者の救済など善政を行い、幕府の表彰を受けた。また、唯一の皇族系大名として「戊午の密勅」を受けると、天朝を守護するため西洋兵法を採用し、軍備の洋式化・増強化を図り、思慮深い政治力、指導力により明治維新に導いた名君毛利敬親の実像を紹介する。

ブックレットシリーズ

萩ものがたり



申し込み 一般社団法人 萩ものがたり事務局  
☎ 0838・25・3233

54 萩の世界遺産

—日本の工業化初期の原風景—

道迫真吾(萩博物館主任学芸員)

A5版 80ページ 620円(税込)

2015年、萩城下町、萩反射炉、恵美須ヶ鼻造船所跡、大板山たたら製鉄遺跡、松下村塾の5つの資産を含む「明治日本の産業革命遺産—製鉄・製鋼、造船、石炭産業—」が世界遺産に登録された。幕藩領主が海防強化の必要から西洋技術を取り入れ、工業化初期に試行錯誤を重ねた典型例と評価される萩の資産の歴史的経緯・価値を解説する。特に松下村塾の工学教育への影響について詳説する。

全国のネットワーク会員に、年6回隔月で郵送  
発行月 1・3・5・7・9・11月号  
(1994年10月創刊)  
会費 一般2,000円、特別賛助10,000円  
会員数 1,677人

5/3~4  
萩・大茶会



イベントカレンダー

萩市観光協会 ☎0838・25・1750

- 5月1日(月)~5日(金)・(土) 9:00~17:30  
◇萩焼まつり 萩市民体育館
- 5月3日(水)・(木)~4日(金)・(土) 10:00~15:00  
◇萩・大茶会 指月公園・旧久保田家住宅ほか
- 5月3日(水)・(木)~4日(金)・(土) 10:00~17:00  
※4日は16:00まで  
◇萩往還まつり「技・明木展」 乳母の茶屋周辺
- 5月13日(土)~21日(日)  
◇萩オープンガーデン 市内27カ所の庭園
- 5月13日(土)~5月14日(日) 10:00~16:00  
◇萩・夏みかんまつり かんきつ公園、旧田中別邸
- 5月21日(日) 9:00~15:00  
◇浜崎伝健おたから博物館 浜崎本町筋周辺
- 6月3日(土) 17:30~22:00  
◇ホテルまつり in やまだ 山田天神橋周辺
- 6月4日(日) 9:30~13:30  
◇萩の和船大競漕おしくらごう 橋本川下流



5/21 浜崎伝健 おたから博物館

5/13~14 萩・夏みかんまつり



山口県立萩美術館・浦上記念館だより ☎0838・24・2400

色絵磁器の最高峰 「今右衛門の色鍋島展」

4月29日(土・祝)~6月25日(日)

色絵磁器のわざと美の極致を追及した「色鍋島」の伝統を、近代以降も一貫して担ってきた今泉今右衛門家。

人間国宝である当代(十四代)今右衛門にいたる崇高と美について、「色鍋島」370年の歴史をさかのぼって紹介します。

■観覧料

一般 1000円、70歳以上の方・学生 800円、18歳以下は無料

■休館日 5月15日、29日、6月12日のいずれも月曜日



萩博物館だより ☎0838・25・6447

【特別展】高杉晋作没後150年記念 「高杉晋作の決意」 明治維新への助走

5月7日(日)まで

晋作の上海日記「遊清五録」、  
「御楯組血盟書」、宮内庁所蔵  
「晋作書簡」(桂小五郎・井上  
聞多あて)、「柳生新影流伝書」  
などの資料から、過激な攘夷  
運動へと向かう決意の軌跡を  
辿ります。

■観覧料

一般 510円、高校・大学生 310円、  
小・中学生 100円

■休館日 年中無休

【企画展】萩夏みかん物語Ⅱ

5月13日(土)~6月11日(日)  
萩の夏みかんについて再発見

